

令和5年第12回（12月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和5年12月21日（木曜日） 14時00分 開会

2 場 所 山陽小野田市役所 第2別館会議室2

3 出席委員 教 育 長 長 友 義 彦 職務代理者 砂 川 功
委 員 竹 田 佳 枝 委 員 中 村 眞 也
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育総務課長	浅 川 縁	学校教育課長	長谷川 裕 司
社会教育課係長	柿 並 健 吾	埴生幼稚園長	桶 谷 美 和
学校給食センター所長	和 田 英 樹	中央図書館長兼厚狭図書館長	山 本 安 彦
歴史民俗資料館長	若 山 さやか	小学校長会長	下 瀬 昌 巳
中学校長会長	山 本 時 弘	書 記	野 原 嵩 恵

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

- ① 報告第12号 令和5年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について
(学校教育課)

(6) その他

- ① 県費負担教職員の人事について (学校教育課)
② 市職員の人事について (教育総務課)
③ その他

(7) 閉 会

開 会

○長友教育長

それでは定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による12月の定例教育委員会会議を開催いたします。

本日は委員全員ご出席ですので、会議が成立していることをご報告いたします。

会議録署名委員の指名

○長友教育長

会議録署名委員の指名をいたします。砂川委員、末永委員よろしく願いいたします。

会議非公開の決定

○長友教育長

本日の議事日程中の「6. その他」の「県費負担教職員の人事について」及び「市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められるため、非公開にしたいと思います。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

ありがとうございます。全員賛成と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

○長友教育長

まずは報告事項に入ります。

私からまず、12月議会についてご報告いたします。12月議会では山田議員から中学校の部活動について質問がありました。現在話題となっております部活動の地域移行が少子化に伴い学校規模が縮小し競技数が減少することから、現在の活動が維持できないこと、また部活動の指導が教員の負担となっていることなどが地域移行する理由として挙げられております。部活動を地域に移行するにあたり本市では、文化スポーツ関係団体・学校関係者・保護者の代表者・行政関係で構成する協議会を設置し、市の方針や体制整備について検討していく予定です。山田議員からは部活動の教員の関わり方について尋ねる質問でした。現在部活動を実施するにあたり、各学校では部活動の方針を示しております。これに基づいて各部で保護者会を開き部の運営方針を示し、保護者にご理解とご協力を求めているところです。市の方策としましては、部活動のガイドラインを示し週二日の休養日や活動時間を示しています。さらに学校では教員の負担軽減のため、部については複数担

当制、それから週休日の試合等につきましては代休の取得を促すなど、教員の働き方改革に努めているところ、そうしたところを回答いたしました。

次に中島議員からは給食の無償化について質問がありました。本市では物価高騰対策として令和4年度の3学期分・令和5年度分について国の交付金を活用して保護者の負担増にならないように、今現在措置をしていること、学校給食の無償化については近年他の自治体では動きがみられるものの、国の補助金や交付金といった恒久的な財源確保が見通せないことから、本市では給食の無償化の実施は難しいことを回答いたしました。

岡山議員からは学校にあるトイレの洋式化について質問がありました。本市は県内においても洋式トイレの設置率は低いほうになります。家庭での洋式トイレの普及に伴い、学校に洋式トイレの設置が求められております。本市といたしましては前向きに取り組んでいくことを回答いたしました。また、中央図書館の図書返却ポスト付近の街灯が20時で消灯するため、危険ではないかと指摘がございました。指摘を受け現在中央図書館の街灯につきましては、点灯時間を22時まで延長しているところです。

最後に藤岡議員からは部活動の地域移行について質問がございました。この質問については文化スポーツ推進課のある協創部長が回答しております。令和7年度末までに休日の部活動の地域連携、地域移行を目指し、先程申し上げました山陽小野田市の協議会を立ち上げることとなっております。教育委員会といたしましても部活動の地域移行により子ども達が様々なスポーツ・文化に触れられるよう市の体制が整うように、関係部局・関係機関・学校と連携協力してまいります。

以上で私からの報告を終わります。

私の報告について何かご意見ご質問等がございましたらよろしくお願ひします。よろしいでしょうか。

それでは各課からの報告をお願いします。矢野次長代理の柿並係長。

○柿並社会教育課係長

はい。社会教育課の柿並です。よろしくお願ひします。本日は矢野次長、及び安藤課長補佐は「浜五挺唐樋保存活用計画策定委員会」の方に出席しておりますので、私の方からご報告させていただきます。

報告事項は3点ございます。

1点目については平和のつどいについてです。11月11日に厚狭中学校において平和のつどいを開催いたしました。講師は広島県原爆被害者団体協議会の箕牧^{みまき}智之^{ともゆき}先生をお招きしまして、「被爆の体験証言と未来に向けてのメッセージ」という演題でお話しいただきました。戦争の悲惨さを伝える体験証言と平和な未来を創っていく人材としての自覚を促すメッセージなど、平和の尊さについて熱く語りかけていただきました。来年度はオンライン配信等も含めてまた開催を検討していきたいと考えているところです。

2点目はヒューマンフェスタです。12月9日（土）にヒューマンフェスタさんようおのだが市民館で開催され、200人の参加がありました。開会行事に続いて人権に関する標語・ポスターの優秀作品、それから全国中学生人権作文コンテスト宇部地区大会の入賞者の表彰式が行われた後に人権作文コンテストで協議会会長賞を受賞した竜王中学校1年の瀧原^{たきはら}彩夢^{さいゆめ}さんが受賞作文を朗読披露しております。講演では山口大学の永井涼子先生から「外国人とともに暮らす—多文化共生の実現を目指して—」というテーマでお話をいただいております。また人権に関する児童生徒のポスター、作品をロビーに展示してありまして、人権啓発活動として広く市民に人権を意識していた

だく機会となっております。

3点目は二十歳のつどいになります。1月7日（日）に「令和6年山陽小野田市二十歳のつどい」を開催いたします。本年度に関してコロナ後ということもありますので、通常の開催という形をとっていきたく思っております。参加対象者は市内・市外を含めると約700名、式典に関しては昨年度同様に1会場2部制、12時から山陽地区の学校区、15時から小野田地区の学校区について行いたいと思います。今回も公式Instagramを利用いたしまして、式典のライブ配信を行うこととしております。新たな取組といたしまして市内外の事業者の方々から商品のご提供をいただきまして、名産品抽選会というのをやってみたいと考えております。参加者の心に残る式になればと思っております。

社会教育課からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。よろしいですか。

竜王中学校の人権の作文を書いた瀧原さんは、県で2番目だったのですか。県でも賞を受けて確か2番目のとてもいい賞をもらっていたと思いましたが。

○柿並社会教育課係長

はい。確かそのように言われていたかと思えます。申し訳ございません。

○長友教育長

内容につきましては委員会の方に資料がございますので、時間があるときにその作文に目を通していただけたらと思えます。

それでは浅川教育総務課長、お願いします。

○浅川教育総務課長

はい。教育総務課からは2点御報告させていただきます。

1点目は寄附採納の報告です。別紙の寄附採納一覧表を御覧ください。今回は学校の開校周年記念等もあり、会社、団体の方から5件、いただいております。

1件目は、株式会社タナカ工業様から、有帆小学校開校70周年記念事業に伴うお祝いの寄附ということで、有帆小学校の学校図書館の図書購入費用に図書カード10万円分の寄附をいただきました。

2件目は、厚狭小学校開校150周年を記念して、厚狭地区自治会協議会様から、厚狭小学校の事業運営のためにと、会議用長机10台の寄附をいただきました。

3件目も、同じく厚狭小学校開校150周年を記念して、山陽ライオンズクラブ様から、厚狭小学校の体育振興を図るため、体育備品倉庫のご寄附をいただきました。

4件目は、高泊小学校創立70周年記念事業の記念品として、山陽小野田市立高泊小学校創立70周年記念事業実行委員会様から、パイプ椅子100脚、傘立て1個のご寄附をいただきました。

5件目は、小野田ライオンズクラブ様から、教育とコミュニティ支援のためということで、図書館に図書等10万円分のご寄附をいただきました。

次に、2点目が共催後援の報告です。別紙共催後援一覧を御覧ください。この1か月間、教育委員会が共催後援を承諾した行事等の一覧となりますので、御覧いただければと思えます。

教育総務課からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございますか。よろしいですか。

それでは長谷川学校教育課長、お願いします。

○長谷川学校教育課長

はい。学校教育課から3点ご報告いたします。

まずはインフルエンザについてです。11月はひと月で249名の罹患者がいましたが、12月は本日までに352名と、再び感染が広がりつつあります。これから本来の蔓延期に入りますので、各学校での感染予防対策を繰り返し呼び掛けてまいります。

対して新型コロナウイルス感染症につきましては、今月に入りまして17名と、先月に比べて1名減と比較的落ち着いている状況です。

続いて2件目、デジタル副読本「はっけん！山陽小野田」の編集状況です。主に小学校3・4年生が社会科で山陽小野田市の地域を学ぶために提供していた冊子状の副読本を、1人一台端末で活用できるようデジタル化しているところです。これにより子ども達はいわゆるデジタル教科書のように端末を活用して副読本を利用することになります。市内小学校の2名の校長と教頭1名、教諭6名に加え、市教育研究会の社会科部員にも協力をいただき、昨年度から今年の秋にかけて現行の副読本の内容を見直す編集作業を行いました。現在作成したデータを基に業者が編集作業を行っているところでございます。この副読本が出来上がりますと、従来では見られなかった動画のコンテンツも見られるようになり、教材をより身近に感じながら学習できるようになります。年度内に完成し、4月から利用できるようになります。

最後に教育DXの推進についてです。本市は10月31日にグーグル社のパートナーシップ自治体となりました。パートナーシップ自治体になりますとグーグル社が持っている教育推進に係る研修を受けることができるようになったり、概ね各県に一自治体ある同じパートナーシップ自治体の取組を共有できるようになります。本市では単に端末を使った学習を進めるだけでなく、児童生徒が活用するデータを分析し、データを利活用して効果的に教育が推進できるような取組をこれから行っていくところです。データ分析においては山口大学や広島大学など学術機関とも連携して研究を進めることにしております。これに先立ち、市内の小中学校の教諭2名と指導主事1名が11月末にグーグル本社と先進的に取り組んでいる、茨城県水戸市の教育委員会と中学校の視察を行いました。今後も教育効果を高めるために教育のDXを推進してまいります。

以上で学校教育課の報告を終わります。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

○砂川委員

はい。

○長友教育長

はい、お願いします。

○砂川委員

医者としての話ですが、インフルエンザは相変わらず衰える様子がないようです。7月くらいから半年、毎日毎日インフルエンザと戦っております。それがそろそろ終わるかな・・・と思うと昨日と一昨日、中学生と高校生にB型が出ました。普通はA型が流行の主流となりまして、B型はあまり流行とはならないのですが、3、4年ぶりの流行で大変な状態になっています。以前流行していたころは、まずはA型が1月中旬を中心に大流行し、疲れたころにB型が少し出てくるのです。

それで終わっていくという流れなのですが、B型が出たのもう終わるかな、と思っていたら、今日の午前中の診察で、A型の子がいるのです。山陽小野田市の子ども全員がかかったら落ち着くのではないと思うくらい大変な数がずっと続いています。インフルエンザワクチンは毎年A型が二つ、B型が二つの4つのウイルスが、世界でいろいろと研究されて「今年はこの4株で」と話し合っていて決めて、それからワクチンを作って皆さんに接種するので、一度かかったからもうかからないということはない。A型だけでも2つあるわけですからもう一度かかることもあるし。だから一度かかった子どもの親は「インフルエンザワクチンをする必要はありますか」と聞かれるのですが、私は「かかってもワクチンを接種しなさい」と言います。2月の末まで取り扱っていますので、ぜひ気を抜かずにワクチンを接種するようにして、環境を良くして欲しい。そして早く終わっていただきたいと思います。B型が出たことをお知らせしておきます。

○長友教育長

中学生は受験がそろそろ始まって、私立は早ければ冬休みから始まりますよね。

○山本中学校長会長

はい。今年は冬休みから始まります。

○砂川委員

打つのであれば今のうち・・・でないと正月が明けるとすぐに入試が。小学校から受ける人はたくさんいますから。打つのであれば早めに。

○長友教育長

中学校長会長も来られておりますので、是非とも注意喚起の方よろしくお願ひしたいと思います。

○砂川委員

つい最近小野田工業高校が学級閉鎖になりましたね。

○山本中学校長会長

はい。聞いています。

○砂川委員

だんだん年齢が上になって、もう小さい子はだんだん終わってきていると思ったら少しずつ出てくるのです。そういう状態です。

○長友教育長

はい。その他ありませんか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

どうぞ。

○竹田委員

デジタル副読本の件、とても楽しみにしているのですが、これができあがりましたら私達も中央図書館で借りることができるような仕組みにはならないのですか。

○長谷川学校教育課長

こちらは広く市民の皆さんに見ていただけるように、ネットで配信できるような工夫をしていきたいと考えております。

○竹田委員

よろしくお願ひします。

○長谷川学校教育課長

市に訪れる方々が見て、市のことをよく知っていただくためのコンテンツにもできるかな、というふうに考えております。

○竹田委員

はい。ありがとうございます。

○長友教育長

その他よろしいでしょうか。

教育データの利活用で、広島大学と山口大学と協力・・・とありましたが、山陽小野田市立山口東京理科大学も？

○長谷川学校教育課長

はい。山口東京理科大学が抜けておりました。

○長友教育長

よろしいですか。それでは桶谷植生幼稚園長、よろしく申し上げます。

○桶谷植生幼稚園長

植生幼稚園です。よろしく申し上げます。

2学期も明日の終業式を残すのみとなりましたが、園の様子を3点ほどご報告いたします。

最初に保育発表会と祖父母参観日についてです。今年の保育発表会は11月25日に人数制限を行わずに、久しぶりにおじいちゃんやおばあちゃんにも一緒に見ていただくことができました。感染症対策を取りながら発表会を行いました。保護者からは「おばあちゃんが見に来ることができて良かった。」「我が子だけでなく全園児の演技を見ることができて感動しました、良かったです。」という声をいただきました。また12月7・8日に行った祖父母参観では、遊戯を見ていただいたり自己紹介をしたり、お孫さんの好きなところを教えていただきました。聞いていた子ども達はなんだか嬉しくて、照れくさそうな顔をしていました。ふれあい遊びでは子ども達だけではなく、祖父母の方のとても嬉しそうな表情が特に印象的でした。家庭では見られない、また、たまに会う時とは違う姿に驚かされていたようでした。

次に「もちつき」についてです。今年も植生小中一貫校で育てられたもち米で、餅つきをしました。前日から年長・年中児がもち米を洗い、水に浸けるところから準備し、餅つき・餅もみまで経験し、お正月準備の習わしを知ることができました。蒸されたもち米の匂いをかいだり、つきたてのお餅をもみながら「やわらかくて温かい」と友達と嬉しそうにしていました。できあがったお餅は、きな粉と砂糖醤油にして食べました。家庭ではなかなかつきたてのお餅を食べることもないようで、「これ初めてした。楽しい!」という子ども達もいました。当日は中村スクールアドバイザーや、たまたま見えられた植生地域交流センター長にも飛び入り参加をしていただき、賑やかな餅つき会になりました。

最後に中村教育委員さんをはじめ、他4名の植生小中ボランティアの皆様のご厚意で、今年も園内の植栽を剪定していただきました。職員では手入れが行き届いていなかったところまで綺麗にしてください、園内外の視界も良くなり、子ども達が安全な環境で遊ぶことができます。ありがとうございました。お手元にあります資料「植生幼稚園新聞」に掲載していますので、ご覧いただけたらと思います。

植生幼稚園からは以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。よろしいですか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

どうぞ。

○竹田委員

はい。お餅つきにたまたま来られたセンター長、ということでしたが、来年は必ず来ていただいて、あと小学生と一緒にできると良いかなと。なかなか規模的には難しいのかもしれないですが、地域の人たちに呼び掛けてもらって、もっとお手伝いが増えてもいいのかな、と思ったのですが。

○桶谷埴生幼稚園長

ありがとうございます。検討していきたいと思います。

○竹田委員

よろしくをお願いします。

○長友教育長

その他、よろしいですか。

はい、続きまして和田学校給食センター所長、お願いします。

○和田学校給食センター所長

はい。学校給食センターです。よろしくをお願いします。

12月16日に今年度4回目となります「親子食育料理教室」を開催いたしました。今回は「和食を知っておいしく食べよう」をテーマに行い、また、講師として一般社団法人和食文化国民会議の方にお越しいただきまして、日本の伝統的な和食文化の特徴や味覚形成の上で重要な役割を担うだしのうまみの大切さ等、分かりやすく講義していただきました。参加者の方からも「改めて和食の良さに気が付きました」、との声をいただくなど好評でした。

なお、2学期も明日までとなり給食も明日までとなりますが、現在のところ特段の支障もなく提供できております。

学校給食センターからは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

では、続きまして山本市立図書館長、お願いします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい。市立図書館からご報告申し上げます。市立図書館関係資料をご覧ください。

中央図書館の《11月・12月行事報告》ですが、11月26日に「第10回図書館フェスティバル」を開催いたしました。今回は初めて「障がい者と共に」というテーマを掲げて開催いたしました。

12月3日に「西日本図書館学会山口県支部第46回研究発表会」があり、この中で中央図書館と厚狭図書館の事例発表をさせていただきました。

《12月・1月行事予定》ですが、12月23日今度の土曜日ですが、色々な行事が目白押しになっております。

年が明けて1月13日（土）ですが、サビエル高校留学生によるギャラリートークが開催されます。現在サビエル高校には5人の留学生が来られていて、その5人の留学生によるギャラリートー

クとなります。

1月20日(土)「図書館でオープンマイク!」を開催します。これは創発会議の主催となります。

1月21日(日)第50回「サイエンス・カフェ」を開催いたします。第50回という節目となりますので、山口東京理科大学の池北理事長に来ていただき、「山口東京理科大学の“いま”と“みらい”」ということで、主に中高生を対象にお話ししていただくことになっています。その後、理科大の事務局から「世界にはばたく山口東京理科大学」ということで、理科大生の卒業後の現状や展望を述べていただき、中高生の疑問・質問に答えるというコーナーも予定しております。

図書館からは以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。よろしいですか。

厚狭図書館の方はございませんか。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

厚狭図書館の方は特にありません。

○長友教育長

こちらの資料を見ていただけたらよろしいですね。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

ご覧いただけたらと思います。

○竹田委員

すみません。

○長友教育長

はい。

○竹田委員

ちひろさんのコンサートに行かれた方からのご意見ですが、「とても良かった、ただ、観客の方が少なすぎるのではないか」ということを言われていて、周りに聞いてみると、「知らなかった」という方が多かったのです。非常にもったいないなと思いましたので、ゲストにもよりますがもっと盛大にポスターでの周知とかしてはどうか、というご意見がありました。私は残念ながら行けなかったのが申し分けないのですが。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい、そうですね。サビエル高校の卒業生なので、サビエル高校の同窓会の会長さんにもお願いして呼びかけていただいたり、宇部日報には2回も載せていただきました。

○竹田委員

出ているのですね。そうですか。そういった声が多かったので・・・すみません。一応お伝えしておきます。

○長友教育長

はい。ありがとうございます。

続きまして若山歴史民俗資料館長、お願いします。

○若山歴史民俗資料館長

はい。歴史民俗資料館よりご報告いたします。別紙資料をご覧ください。

企画展「古文書にみる惣社八幡宮」のギャラリートークを2回、行いました。「展示・解説がと

でも分かりやすく、次回の古文書展が楽しみだ」といった感想もいただいております。

1月26日の図書館フェスティバルでは、「歴民クイズ」で参加いたしました。硫酸瓶の形や特徴のクイズが難しかったようで、参加者が苦戦していましたが、よそにはない山陽小野田市ならではの歴史を知ってもらう良い機会となったのではないかと思います。84名の入館者がありました。

12月14日に有帆小学校の3年生が路線バスを使って見学に来ました。館内の学習では積極的に質問があり、熱心にメモを取る姿がありました。バスが来るまで少し時間がありましたので、火おしの道具を使ってみたり、昔の遊びをしたりしました。資料館に親しみを持っていただけたのではないかと思います。まだ今年度来ていただいていない学校やこちらから出前授業に行っていない学校に対しては、こちらから提案するような形で連絡を取っている最中です。

その他今後の予定といたしまして、資料館はエレベーターが開館当初からの物で新しいエレベーターに更新するため、1月2月と休館になります。この間資料館では3月1日から開始する展示の準備、今後の企画展の資料調査などと並行して収蔵資料の整理などを行っていきます。

資料館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。よろしいですか。

各学校はぜひ歴史民俗資料館を利用していただいて、教科書に書いてある歴史と今現在住んでいる地域との歴史のつながりをしっかりと学んでもらえると良いなと思います。先日出合小学校で研究授業の参観に行ったのですが、ちょうど大名行列を話題にしていたのです。出合小学校のすぐ下が旧山陽道、その目の前の毎日通っている道を大名が通ったんだ、というようなそういう実感のある学びができるようになればいいかな、と思います。先生方はそんなに色々詳しくはないと思うので、ぜひ歴史民俗資料館にご相談いただくと学びも豊かになるのではないかなと思います。中学校も是非とも呼んでいただいて、歴史の深いところを学んでいただけたらと、私は考えているところです。是非ともよろしくお願いしたいと思います。

○砂川委員

はい。

○長友教育長

はい。

○砂川委員

歴史民俗資料館がエレベーターを作ったというのは良いなと思っていて、高齢者が行きやすくするのは良いなと思います。もう少し駅も含めて高齢者に優しい市にして欲しいと思います。子どもも高齢者も大切にしたいです。ありがとうございました。

○長友教育長

ありがとうございます。その他、よろしいですか。

それでは小学校長会長、お願いいたします。

○下瀬小学校長会長

はい。小学校長会長から3点ご報告いたします。

1点目は2学期の終了についてです。長い2学期も明日で終業式を迎え、77日間の授業日数を終了します。2学期は9月から12月までインフルエンザの流行もあり、学級閉鎖を行った学校もありましたが、順調に学校行事や教育活動を進め、修学旅行・宿泊学習・学習発表会・持久走など

各学校で工夫して実施できました。昨日と本日は各校とも保護者懇談会を行っております。懇談会は学校での学習状況、生活での良さや課題について、子どもの成長や発達について、学校と家庭が意見交換をして双方の理解を深め今後に繋げていくものとして重要なものです。各学校から出た意見を集約して学校全体で共有し、今後の取組に繋げていきたいと思っています。

2点目は児童の自発的・自主的な活動についてです。本校では本日多くの学級でお楽しみ会、いわゆる集会活動を実施しています。児童にとっては同じ学級の仲間との絆を深めるものであって、児童が会の運営を主体的に行い、自主的に実行する場で仲間集団での行動を学ぶ場でもあります。社会性についても勉強になるところです。10月には児童会主催の集会活動を実施しております。感染症対策で自主的な活動がしばらくできなかつたこともあって、特別活動を通して児童の主体性や実施能力を伸ばしたいと考えております。

3点目は学校の教育活動の振り返りです。12月は本年度の教育活動を振り返り、来年度の教育計画を立てる時期になります。昨年度まではコロナ後についてどのように教育課程を組んでいくかを校長会として協議しながら進めてまいりました。本年度は今年の実績を踏まえて一つの教育活動のねらいや目指す学校の姿を考える、児童自身が主体的に学び、協働して活動するために学校のDXも含めて教職員で話し合って改善していきたいと考えております。このカリキュラムマネジメントには中学校との連携が非常に重要となりますので、1月には高千帆中学校区で教務主任あるいは教頭が教育課程の会議を行うように計画しております。

以上小学校長会からの報告です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

○末永委員

はい。よろしいでしょうか。

○長友教育長

はい。

○末永委員

校長先生からお話のあったお楽しみ会ですが、児童生徒達は楽しみにしていると聞きます。お楽しみ会を私は深く考えたことがなかったのですが、今、校長先生からのお話しですごく納得しました。お楽しみ会について子ども達は主体的に自発的に色々なことを考えます。自分たちでやる「会」ということで。それで今日高千帆小学校でもお楽しみ会が行われたクラスがたくさんあって、「すごく楽しかった」と言ってみんな笑顔で帰ってきている下校時の顔を見て、そして雪が降る中でいろいろな活動をしたと話してくれる子もいて、すごく良かったなと保護者としても思いました。子ども達の主体性も育てながら気持ちよく2学期を終えることができ、この活動は素晴らしいなと感じました。ありがとうございました。

○下瀬小学校長会長

ありがとうございました。

○長友教育長

その他よろしいでしょうか。

それでは中学校長会長、お願いします。

○山本中学校長会長

はい。中学校も多くの学校が一昨日もしくは昨日から、期末の懇談会を行っております。一人ひ

とりの生徒の頑張りや成長を振り返りながら、認めると共に改善が必要な点についてはこれからの取組について話し合いを行っているところです。先ほどもありましたが、3年生は本懇談会で国立・私立に続いて、公立高校の受験校を確定します。昨今の中学校の状況について簡潔に4点ほど申し上げます。

まず1点目は先月不二輸送機ホールで開催された山陽小野田市中学校音楽祭についてです。この音楽祭には各学校の合唱コンクールで最優秀に輝いた学級が学校の代表として参加しています。また市内の5校の吹奏楽部が演奏を披露しました。保護者・地域の参観者で観客席が満席になる盛況ぶりでした。この会については市教育委員会から子ども達を搬送するバスを提供していただいております。来年もよろしく願いできたらと思います。

それから2点目は例年新生徒会の発足に向けた生徒会選挙がこの時期に行われます。候補者が選挙運動を展開して、立会演説会の後に投票が行われております。市の投票箱・投票用紙の記載台を借用して実施する学校もあります。本校では3年ぶりに男性の生徒会長が選出されました。生徒を含めて学校関係者が経営ビジョンだとか、学校課題を共有して、その達成や改善に向けて生徒会が主体的・民主的な協議、自主的な生徒集団の活動や実践を通じて、好ましい集団や個人の育成に努めてまいりたいと思っております。こうした取組が行事等から得られる達成感や感動体験は、重要な発達支持的生徒指導の展開と考えております。力を入れていきたいと思っております。学期末には新旧生徒会役員が引継ぎ会を行います。これまで引き継いできた校風や文化を継承していきたいと思っております。リーダー研修会も冬休みに予定しています。

3点目は学校評価についてです。重点取組事項について生徒・保護者・教職員のアンケートを実施するなどして、成果と課題を検証しています。今年の第1回学校運営協議会で学校経営ビジョンと共に生徒会の活動についても承認をいただいております。生徒会も検証して、学校運営協議会の方と一緒に関係者評価を受ける予定です。

最後に資料をお渡しします。山口県主催の令和5年度愛鳥週間ポスターコンクールにおいて、本校の2年生の西野真央さんが県で優秀賞を獲得しました。そしてその作品は公益財団法人日本鳥類保護連盟主催の令和6年度の愛鳥週間用ポスターの原画コンクールというのが全国であるのですが、応募に挙げられ、この度文部科学大臣賞を受賞しております。

以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

○砂川委員

はい。

○長友教育長

どうぞ。

○砂川委員

校長先生、紹介していただきありがとうございます。良いことがあったら紹介してみんなで拍手をする、という伝統のある教育委員会にしてもらいたいと思います。

○長友教育長

この数年、県でも上位に入る生徒が増えたように感じます。先ほどの竜王中学校の作文もそうですが、昨年度も青年の主張コンクールで小野田中の生徒が県の代表になったり、山陽小野田市は小さな町ですがとても頑張っているなと考えています。また先生方がそれだけ一生懸命にご指導され

ているのだろうなというふうにも拝察されます。またこういったいい雰囲気は続けて行ければというふうに思います。よろしいですか。

次回の会議日程

○長友教育長

それでは次回会議日程について、教育総務課長よろしくをお願いします。

○浅川教育総務課長

はい。お手元に令和6年の教育委員会定例会開催日程（案）をお配りしておりますので、ご覧ください。1月の定例会は令和6年1月18日（木）14時00分から、場所は給食センターで行います。以上です。よろしく願いいたします。

○長友教育長

皆様、よろしいでしょうか。

はい、それでは前半を終了いたします。お疲れ様でした。

14時48分休憩

14時49分再開

報告第12号 令和5年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について

○長友教育長

はい。それでは議事に移ります。報告第12号「令和5年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について」事務局お願いいたします。

○長谷川学校教育課長

はい。それでは報告いたします。11月30日午後、第2回山陽小野田市教育支援委員会、12月7日午後、第3回山陽小野田市教育支援委員会が行われました。会議の内容は市内小中学校で、通級指導教室の報告と小中学校在籍児童生徒の就学指導、そして来年度小学校に入学する園児についての教育支援についてです。

本市の通級指導教室の設置校は小野田小、小野田中、厚狭小、厚狭中、高千帆小、高千帆中、須恵小、埴生中の8校です。設置校以外の小中学校は保護者の送迎でこの8校に通級しております。

次に小中学校在籍児童生徒についての就学に関する審議及び審判ですが、31名が中学校での在籍の継続、26名が在籍変更を希望しました。審議の結果、希望した全ての児童生徒において在籍の継続・在籍の変更が可能となりました。来年度小学校に入学する幼児については、25名の審議

及び審判が行われました。7名が宇部総合支援学校、18名の幼児が特別支援学級への入級が適切であると判断されました。以上です。

○長友教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等はございませんか。よろしいですか。

それでは採決したいと思います。報告第12号「令和5年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について」を、原案どおり決することにご異議はございませんか。賛成いただける方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございます。報告第12号は賛成多数により承認されました。

その他

県費負担教職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

その他

○長友教育長

次に(3)その他ですが、何かございますか。よろしいですか。

閉 会

○長友教育長

それではこれで本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆さん、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

14時57分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和5年 12月 21日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印